

聖火リレーで伝えたかったこと

5月8日、池島っ子が東京オリンピック聖火ランナーとして西海市を走り抜けました！これから紹介する文は、池島っ子が前日の朝の会で語った聖火リレーへの思いです。

聖火リレーに応募したきっかけは、正直に言うと、みんなにやってみればと言われたからです。でも、聖火ランナーの内定をもらった時に、「自分は池島の思いを背負って走るんだな」という思いに変わっていました。とても不安でしたが、同時にとてもうれしかったです。本番では、終始笑顔で走り抜きたいと思います。そして、走る姿で、「池島の人を元気づけたい」という願いとともに、池島を出た人に「池島は今も元気にやっています！」ということも伝えていきたいです。

この言葉通り当日は、終始笑顔で走り抜け、その走る姿を通して伝えたかったメッセージをしっかりと伝えることができたのではないかと思います。昨年まで本校で勤務されていたO田先生より、「直接応援にはいけませんでしたが、池島っ子の姿をインターネットで見ました。笑顔で走る様子を見ながら、自分も元気をもらいました！」とメッセージをいただきました。また、地域の方から「実施できてよかった！」「新聞で見たよ、いい笑顔だった」「がんばっていたね」「元気をもらった」などなど、温かい言葉をたくさんいただきました。声援や応援をありがとうございました。この学びを元に池島っ子はますます、成長するとともに、活躍の場を広げていってくれることと確信しています。最後に、池島っ子が作った俳句を紹介します。たくさんの感動をありがとう！

「風光る 笑顔で走る 聖火リレー」



図工で表現

池島 Jr が神浦小学校との交流授業で作った作品を紹介します。この段ボールを見た時、これって「空気砲？」と



思ったのですが、じっくり鑑賞してみるととても素敵な作品なのです！上に青色のセロファンを貼ることで「夜の海」を表現したかったとのこと。中をのぞくと、テープで海底の岩や暗闇の中の波の様子、白波が立っている様子がよく表現されています。とても素敵な作品に仕上がりました。完成を楽しみにしています。

俳句で表現

池島 Jr も国語の授業で作った俳句を紹介します。季節にあった季語を探し、そこから風景を想像しながら作った作品です。この句から満開のふじの花が風にたなびく様子が目に浮かぶようです。素敵な作品をありがとう！！

